

9月

漏水防止月間

漏水チェックをやってみよう！

・漏水していると貴重な水資源である地下水をムダにしてしまいます。上下水道局では漏水の早期発見に努めています。皆さんも漏水によるムダな水を出さないために、日ごろから水道メーターを見る習慣をつけましょう。

☆水道メーターの見方☆

- ①すべての蛇口を閉める。
- ②水道メーターの**パイロット**をチェックする。
- ③パイロットが回転していれば、メーターから蛇口までのどこかで漏水している可能性があります。(回転していなければ異常ありません。)

修理や調査は、上下水道局指定の水道工事店が「水道検針時のお知らせ」
☆裏面の水道修繕センターへご連絡(相談)され、早期の修理をお願いします。
※修理費用はお客様のご負担となります。

☆上下水道局では2ヵ月ごとにメーター検針を行い、その際パイロットが回転している場合は「水道検針時のお知らせ」をお届けしています。

漏水は、早期発見・早期修理をお願いします。

お問い合わせは、上下水道局料金課(☎361-5400)まで。

“節水診断”してみませんか？

もう少し水道料金が安くならないかしら？ もっと簡単に節水できる方法はないかしら？ よその家庭より水を多く使っているんじゃないかしら？ ーこんなふうに思ったことはありませんか。

お客様のご自宅に訪問して、**ライフスタイルに応じた節水の実践方法をご提案**する無料サービスを始めました！ **地球にやさしく、お財布にもやさしい**エコな暮らしを始めてみませんか!!

お申し込みは、(財)熊本市水道サービス公社 361-5571 まで。



パイロット

第3回

くまもと水検定

くまもと「水」検定に関するお問い合わせ

熊本市 水保全課 ☎096-328-2436

くまもと「水」検定公式ホームページ

くまもとウォーターライフ 検索

3級検定
(通信試験・市政だより7月号紙上)
期間:平成22年7月1日~9月30日

1級・2級検定
(会場試験・熊本市内)
期日:平成22年12月5日(日)

主催／熊本市 後援／環境省、国土交通省熊本河川国道事務所、農林水産省九州農政局、熊本県、(財)肥後の水とみどりの愛護基金、(財)熊本地下水基金、熊本地域地下水保全活用協議会、水循環型営農推進協議会、熊本商工会議所、(社)熊本青年会議所、熊本経済同友会、熊本県中小企業家同友会、熊本市PTA協議会、高等教育コンソーシアム熊本(九州看護福祉大学、九州ルーテル学院大学、熊本学園大学、熊本県立技術短期大学校、熊本県立大学、熊本高等専門学校、熊本大学、熊本保健科学大学、尚絅大学、崇城大学、東海大学九州キャンパス、中九州短期大学、平成音楽大学、放送大学熊本学習センター)、熊本日日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、日本経済新聞社熊本支局、時事通信社熊本支局、共同通信社熊本支局、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、くまもと県民テレビ、熊本朝日放送、JCN熊本、エフエム熊本、FM79.1

3級検定のご案内

【受験方法】 郵送による通信試験

【出題範囲】 くまもと「水」検定公式テキストブックなど

【出題数】 30問(選択式)※7月号市政だより公開ほか

【合格基準】 70点以上

【結果発表】 10月中旬発表予定

会員の節水活動レポート



いよいよ7月から「節水強化月間」が始まります。

会員のみなさんの中から団体・企業・個人の節水の取り組みを紹介していきます。

ぜひ参考にして節水に取り組んでください。

10%削減ができるよう頑張りましょう。

◎わくわく節水倶楽部の入会状況 [平成22年5月末日]

延べ構成人数13万9113人

[174団体、383事業所、13行政機関、1,038個人(世帯)]

個人

池松 敦子様



風呂の残り湯を専用ポンプで洗濯機へ。娘さんもお手伝い



米のとぎ汁で食器を洗う池松さん



手洗いよりも水使用を節約できるという食器洗い機

洗濯や食器洗いに節水工夫
家族で楽しくチャレンジ！

熊本市渡鹿の主婦、池松敦子さん(38)が節水に本格的に取り組み始めたのは2年前。当時、小学4年生の長男が、学校から節水方法を紹介したチェックシートをもらってきたのがきっかけだったそうです。「15個くらいチェック項目があり、実践していたのは約半分。『もっと頑張らん』と息子に背中を押されました」。池松さんは、ご主人と4人の子ども、ご主人の母親の7人暮らし。家族が多いため、水道使用量の削減は以前からの課題でした。

今では、池松さん一家の節水活動は多彩です。洗顔や歯磨きの際、水を出しっ放しにしないことはもちろん、風呂の残り湯を洗濯に利用。手で洗うより水道使用量を節約できるとして、食器洗い機を効果的に活用しています。また、米のとぎ汁を捨てずにフライパンなどにため、食器洗いに利用しています。これにより水道代を節約でき、しかも水で洗うより油落ちが良いそうです。

さらに、シャワーの使用は原則として禁止。子どもたちも、トイレの流水量削減に貢献しようと、長男(6年生)と次男(幼稚園児)が順に用を足した後、一度に流すという`節水術、を実践しているそうです。

「家族みんな`もったいない、気持ちが普段からあるせい」か、苦にせず楽しくやっています」と笑う池松さん。ようやく1万円を切るようになったという1カ月の水道代を7000円台まで減らしたいと、節水型のトイレへの交換、雨水の効果的な活用も検討中です。

池松敦子さんの主な取り組み

- 歯磨きや洗顔、手洗いなどの際、洗面器にためた水を利用
- 風呂の残り湯を洗濯に活用
- シャワーの利用は原則禁止
- 食器・鍋類を洗う際、米のとぎ汁で油を浮かせ、水のすすぎ量を節約
- 米のとぎ汁で花の水やり
- 息子2人がトイレで順に用を足し、一度に流す
- 室内の水回りに節水ステッカーを張り付け

水回りの随所にステッカーを張り、家族全員で`節水、を意識

